



歯の はなし

歯の病気と関係している「危険な口内炎」があることをご存知ですか？

「口内炎」ができると、食べ物がかじみて憂鬱な気分になってしまいますよね。

ところで、通常「口内炎」は1週間くらいで治りますが、その一方でなかなか治らず“危険な病気を知らせるサイン”になっていることもあります。そこで今回は『危険な病気を知らせてくれる口内炎』についてお話をさせていただきます。



こんな口内炎がお口の中に出ていませんか？

一般的な口内炎は『アフタ性口内炎』と呼ばれるものです。このアフタ性口内炎は、できても1～2週間程度で治るためあまり心配する必要はありません。

しかし、口内炎が「同じ場所に再発する」「2週間以上たっても治らない」「形や色がいつもと異なる」「複数の口内炎が同じ場所にできる」など、いつもの口内炎とは違い何か異変を感じるようなら、もしかしたら体の中に潜んでいる病気が、口内炎という形でシグナルを出しているのかもしれません。



口内炎の危険度チェック！

- 10日以上治らない
- 治っても同じ場所に再発する
- いつもより大きい
- 形や色がいつもと違う
- 複数の口内炎が同じ場所にできる
- 痛みや腫れがひどい
- 同時に発熱や倦怠感もある
- 症状が口の中全体やくちびる周辺にまで広がっている

1個でも当てはまる場合は“危険な口内炎”かもしれません。すぐに「内科」などの専門医を受診しましょう。

“危険な口内炎”が出たときに考えられる病気は？

尋常性天疱瘡

症状 はじめは透明で柔らかく痛みのない(かゆみや圧痛がみられる場合もあり)様々な大きさの水疱ができます。この水疱をつまんだりこすったりすると、はがれて大きくむけてしまい、痛みのあるただれが生じます。水疱は口の中にもでき、すぐに破れて痛みを伴うただれを生じます。そしてさらに、口の中の粘膜に水疱とただれが次々とできて、食べ物が飲みこみにくくなってしまいます。この病気は治療しないと死に至ることもあり、国から「難病指定」されています。

ベーチェット病

症状 唇、頬の粘膜、舌、歯ぐきなどに、直径1cm程度の大きくて表面がくぼんだ円形の口内炎ができます。治まっても繰り返して起こるのが特徴です。口内炎以外にも、足や腕に赤いしこりができたり、目に重い症状が現れて視力が低下し、失明に至ることもあります。この病気の原因はまだわかっておらず、国から「難病指定」されています。



白血病・悪性リンパ腫

初期症状 白血病の初期症状として「口内炎がよくできる」というものがあります。また、通常の間内炎と違ってなかなか治りません。小さな2～3個の間内炎が同じ場所にできたり、繰り返してできたりします。こういった病気になると、体の免疫力が低下するため、体内に潜んでいたウイルスが増加して口内炎を発症させてしまいます。同じ場所に複数の口内炎が繰り返してできるような場合は要注意です。



病気になると体は敏感に反応し、そして初期症状を起こします。「口内炎」はもしかしたらその初期症状かもしれません。したがって、何げない口内炎でも気にして下さいね。

口内炎がなかなか治らないなど、もし上で紹介した症状と似ている所が多い場合は、病気の可能性も考えられますので、すぐに「内科」を受診しましょう。

クイズの こたえ

2 エナメル質

歯の表面は「エナメル質」というとても硬い物質でできていて、人間の体の中で一番硬い部分になります。硬さは「水晶」と同じくらいあるんですよ。